

＜軍事研究と大学＞を考える講演会

# なぜ大学は軍事研究に 携わってはならないか？

軍学共同反対連絡会共同代表

いけうち さとる

講師 池内 了さん



## プロフィール

1944年生まれ。専門は宇宙論・宇宙物理学・科学と社会。

名古屋大学名誉教授・総合研究大学院大学名誉教授。

世界平和7人委員会委員・「九条の会」世話人

## 著書

『科学者と戦争』『科学者と軍事研究』『科学・技術と現代社会』他多数

防衛装備庁の安全保障技術研究推進制度は、日本を再び「戦争する国」に逆戻りさせる安全保障関連法の成立と同じ2015年に発足しました。同制度は、表面上民生技術への活用をうたっていますが、2017年日本学術会議の声明が述べている通り、将来の装備開発につなげるという明確な目的に沿って公募・審査が行われるのであり、主たる目的が軍事技術の開発・向上にあることは明白です。

このような制度に大学が応募することは、学問研究を世界の平和と人類の福利に貢献するという本来の目的から逸脱させ、学問研究の軍事協力を推進することになり、軍事研究との訣別を誓った先人たちの痛切な反省を無にするものです。

今年度採択された3大学の一つが大分大学です。地元の大分大学が軍事研究に関わることについて考えるために、軍学共同反対連絡会の共同代表として活躍しておられる池内先生にこの問題について詳しくお話いただきます。

日時 11月25日(日)16時～18時半

場所 コンパルホール 300号室

入場無料

主催 平和をめざすオールおおいた

連絡先 気賀沢(080 1547-1323)